

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 Element AU² エレメント AU ² (スクエア)	投球者 中島政江	センター ダイヤレーン金町
RG 2.54	ΔRG 0.058	●ピン ★PAP ✕CG ●バランスホール

テスト対象ボール フレアーの幅: 4~5 inch

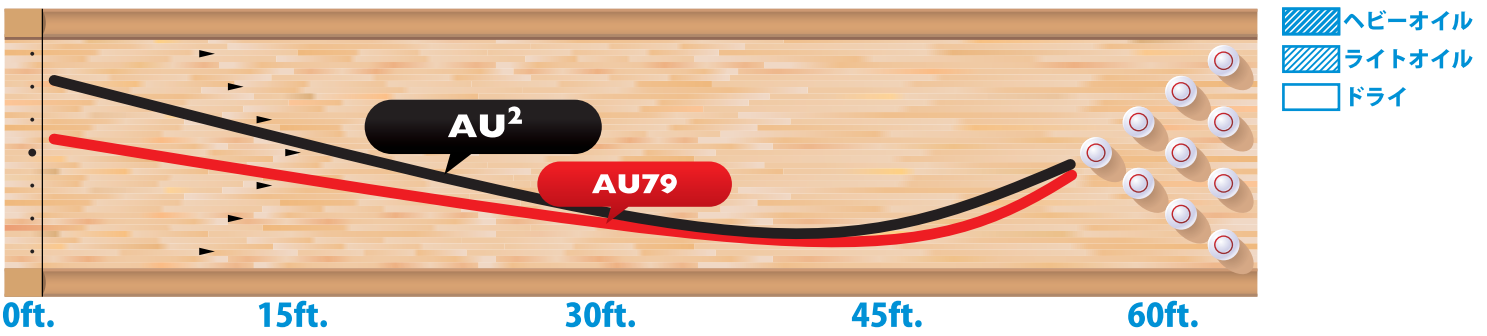
PAP-ピンの距離 4 inch

表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤

比較用ボール AU79

PAP-ピンの距離 4.5 inch

表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤



ローリングタイプ(回転数) ローラー(回転)

レーンコンディション
 早い ● 遅い ○
 手前のコンディション
 オイル厚い ● オイル薄い ○
 奥のコンディション
 キャリーダウン ● かなり切れている ○

オイル長さ 38feet

メンテナンスマシン
サンクション ツインスター シャトル 手引き
その他

ボールの評価

スキッド長さ	長い ● 短い ○	79に比べスキッドは短いけど走らないわけではない。転がり感は増した感じがする。
手前の転がり	よく転がる ○ 空スベリ ●	
バックエンドリアクション	SHARP ○ ARC ●	角度は79よりもあるし、暴れすぎず、多くの板目を使って投球することができる。
曲がり幅	大きい ○ 小さい ●	
ピンアクション	良い ○ 悪い ●	とても柔らかいピンアクションをする。ローリングの安定感もあり、非常に扱い易い。
安定度	良い ○ 悪い ●	
キャリーダウン	強い ○ 弱い ●	79に比べ、オイルキャッチがよく、キャリーダウンにも強さを感じる。
オイルキャッチ	強い ○ 弱い ●	

○AU² ●AU79

特記事項(合うレーンや球質、セールスポイントなど)

●AU79 がかなり良かったのに対し、AU2(スクエア)は、さらにオイルの濃淡を感じさせないボール。板目も多く使えるし、曲がる系のボールが欲しい人にはお勧めです。

●AU79 がさらに転がるようになり、先の動きを強くしたイメージ。